

ペンギー&ピンガは 「木づかい運動」を応援します！

この度、(株)ソニー・クリエイティブプロダクツ(本社:千代田区 代表取締役社長:古川愛一郎)の人気キャラクター・ペンギーは、林野庁が取り組んでいる「木づかい運動」を応援することとしました。これを受け、林野庁は、ペンギー&ピンガを活用した、新たな木づかい運動ポスターを作成しました。

現在、林野庁では、地球温暖化防止に向け、国産材をみなさんにより広く利用して頂くための「木づかい運動」に取り組んでいます。

京都議定書では、2012年までに日本の温室効果ガス総排出量を1990年の水準より6%削減することを約束しています。政府は京都議定書目標達成計画を閣議決定し、削減目標6%の約2/3にあたる3.9%を日本国内の森林によるCO2の吸収量で達成しようとしています。

しかし、日本では手入れが行き届かない森林の荒廃が進んでいるため、今のままでは、京都議定書の目標達成が危ぶまれています。

このため、2005年度から国民運動として「木づかい運動」の取組みを開始し、国産材の積極的な利用を通じて山村を活性化し、二酸化炭素(CO2)をたっぷり吸収する元気な森林づくりを進めようとしています。

そして、この「木づかい運動」の普及のお手伝いを、地球温暖化・環境汚染が深刻な問題である、南極に住む皇帝ペンギンのペンギーファミリーも行うことになりました。

「国産材の利用は、誰にでもできるエコ活動です。」

ペンギー&ピンガとともに、皆様も是非、国産材製品を身近に取り入れてください。

みんなで止めよう温暖化。

(株)ソニー・クリエイティブプロダクツでは2006年7月より、環境配慮型の素材にこだわった「ナチュラルペンギーシリーズ」を自社生産し、ペンギーをエコロジカルキャラクターとして位置づけております。また、これらの商品を販売する直営店m.i.x!において、店舗で一部グリーン電力を取り入れるなど、環境活動に積極的に取り組んでおります。

「木づかい」は、
誰にでもできるエコ活動です。

日本では、国産の木材があまり使われていません。
このため、手入れが行き届かないヒノキ、スギなどの人工林が増えていきます。
植える、育てる、収穫する、上手に使うというサイクルが、CO2をたっぷり吸収する元気な森をつくれます。
「木づかい」とは、暮らしに国産材の製品をどんどん取り入れて森を育てるエコ活動。
木を使うことから、すべてが始まります。



3.9%削減目標達成率を達成するためのCO2削減量は、約1,300万トンです。日本が削減したCO2削減率の約5%削減に相当するCO2削減に相当します。みんなが協力して削減しましょう。



ペンギー&ピンガは、「木づかい運動」を応援しています。 © 2006 The Pingu Group
林野庁 <http://www.rinya.maff.go.jp> 財団法人 日本木材総合情報センター <http://www.jawic.or.jp>

【当りリリースに関するお問い合わせ先】

林野庁 木材利用課 消費対策班 担当:小林、稲澤
TEL03-3591-5794/FAX03-3502-0305

株式会社ソニー・クリエイティブプロダクツ 担当:長谷川、堀江(恵)
TEL03-3515-5716/FAX03-3515-5734

<http://www.rinya.maff.go.jp>
<http://www.jawic.or.jp>